



2019年9月期 決算説明資料

 System Answer® シリーズ

アイビーシー株式会社

証券コード:3920

2019年11月22日

1. 2019年9月期 決算概況 -----P. 2
2. 2020年9月期 業績予想 -----P. 9
3. 成長戦略に対する取り組み -----P. 11

2. 2019年9月期 決算概況



2019年9月期から連結決算に移行しております。

前連結会計年度につきましては連結財務諸表を作成していないため、前連結会計年度との比較・分析は行っておりません。

実績ハイライト

- ✓ 売上高 1,833百万円 (前年同期比 ー)
- ✓ 経常利益 223百万円 (前年同期比 ー)
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益 134百万円
(前年同期比 ー)

ポイント

- ✓ 2019年9月期より iChain株式会社、株式会社サンデーアーツ(2019年4月1日より)を連結の範囲に含め、連結決算に移行。
- ✓ ナビプラス株式会社よりセキュリティ事業を譲り受け(8月1日)、当社が展開するセキュリティポートフォリオを強化。

(単位:百万円)

	19/9期 累計
売上高	1,833
売上原価	551
売上総利益 (利益率)	1,281 (69.9%)
販売費及び一般管理費	1,037
営業利益 (利益率)	244 (13.3%)
経常利益	223
親会社株主に帰属する 当期純利益	134

- ✓ ライセンスの販売は、既存顧客に対するSystem Answer G2からG3への切り替え、及び追加提案に注力したことや新規大型案件の受注により堅調に推移。
- ✓ サービスの提供は、ライセンス販売の受注に伴い発生する構築・運用サポート需要増加への対応強化により、大幅に増加。
- ✓ その他物販等は、システム周辺機器及びサービスの多様なラインアップを揃えた「IBCソリューション」の提案や、ナビプラス株式会社より譲り受けたSSLサーバー証明書のクーポン販売により大幅に増加。

(単位:百万円)

区 分	19/9期 累計	18/9期 累計	前年同期比(%)
ライセンスの販売	1,029	906	113.7
サービスの提供	284	181	156.5
その他物販等	421	203	207.7
合 計	1,735	1290	134.5

2019年9月期 通期連結決算 販売費及び一般管理費

(単位:百万円)

	19/9期 累計
人件費	567
地代家賃	76
業務委託費	43
採用教育費	39
管理諸費	38
その他	274
合 計	1,037

(単位:百万円)

	2019/9末		2019/9末
流動資産	1,972	流動負債	953
現金及び預金	925	買掛金	95
売掛金	986	短期借入金	650
たな卸資産	21	1年内返済予定の 長期借入金	25
その他	38	未払法人税等	70
		その他	113
固定資産	704	固定負債	95
有形固定資産	56	長期借入金	93
無形固定資産	307	その他	1
投資その他の資産	341	純資産	1,627
		株主資本	1,629
		その他有価証券評価差額金	△2
		新株予約権	0
資産合計	2,676	負債純資産合計	2,676

	19/9期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11
税金等調整前当期純利益	214
減価償却費	47
持分法による投資損益(△は益)	22
売上債権の増減額(△は増加)	△265
仕入債務の増減額(△は減少)	34
法人税等の支払い	△72
その他	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415
無形固定資産の取得による支出	△110
投資有価証券の取得による支出	△110
事業譲受による支出	△100
関係会社株式の取得による支出	△60
その他	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	407
短期借入による純増額	650
自己株式の取得による支出	△275
その他	33
現金及び現金同等物の期首残高	901
現金及び現金同等物の当期末残高	925

(単位:百万円)

3. 2020年9月期 業績予想



- ✓ インシュアテック事業を展開するiChain株式会社の開発を進めていた製品がローンチし、本格的に販売を開始。
- ✓ System Answer G3の機能追加により、G2からの切り替え、および新規顧客の開拓を進める。
- ✓ SAMSプラットフォームを中心にインフラ性能支援からセキュリティを含めた総合的なインフラ運用支援を進める。

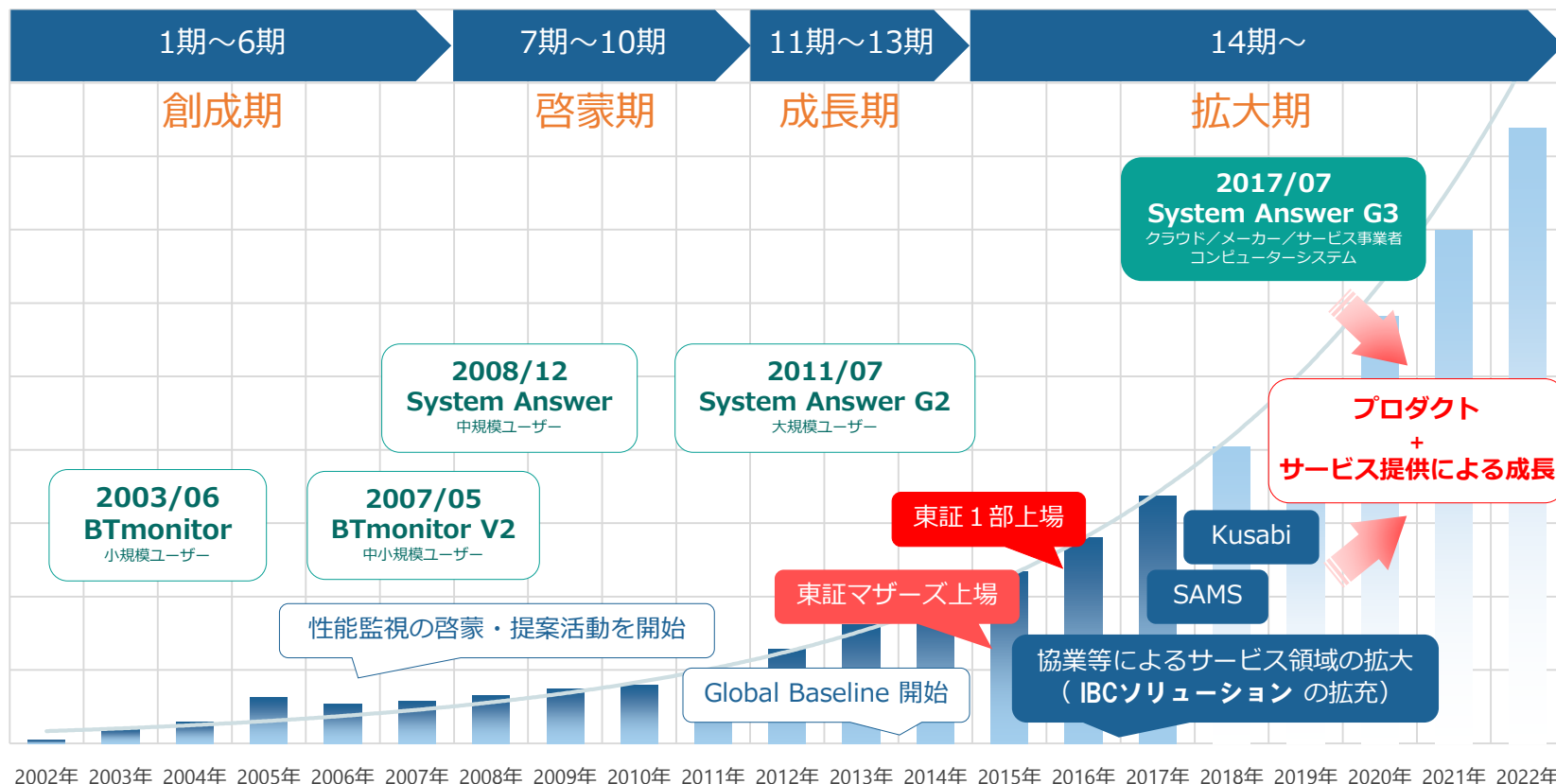
(単位:百万円)

区 分	2020年9月期 (連結予想)	2019年9月期 (連結)	前期比(%)
売上高	2,555	1,833	139.4
営業利益 (利益率)	352 (13.8%)	244 (13.3%)	144.1
経常利益 (利益率)	311 (12.2%)	223 (12.2%)	139.3
親会社株主に帰属する当期純利益 (利益率)	212 (8.3%)	134 (7.3%)	157.4

4. 成長戦略に対する取り組み

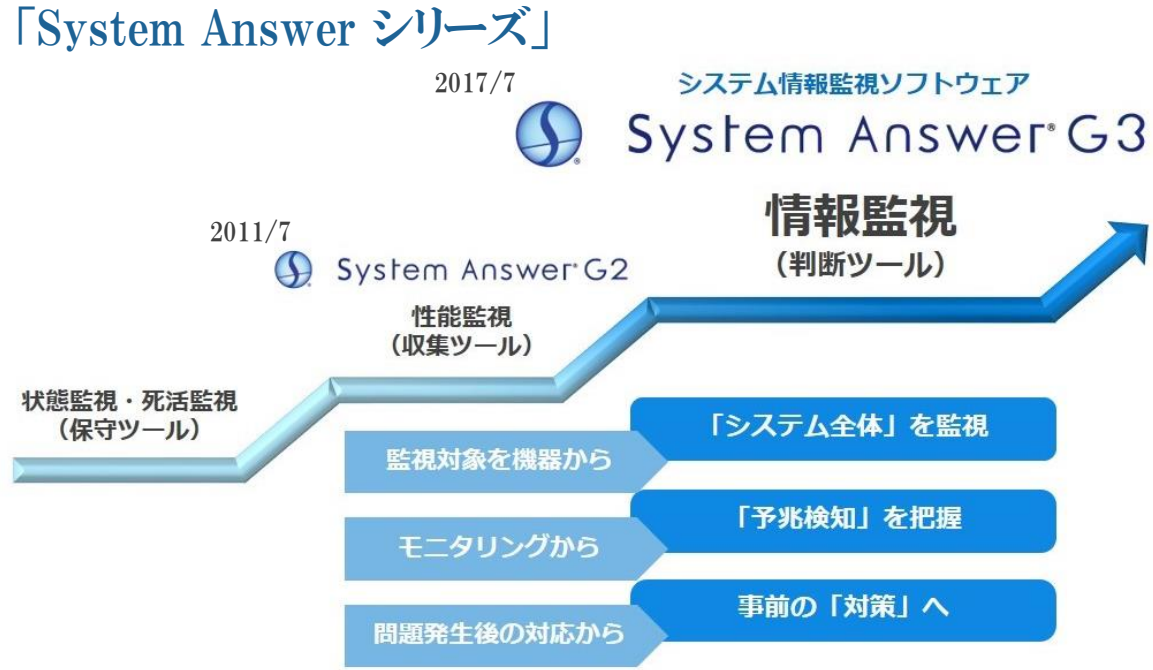


性能監視のリーディングカンパニーからITサービスへ進化を続けるSystem Answerシリーズを中心に、他社との協業等によるサービス領域の拡大(IBCソリューション等の拡充)を推進。今後はマーケットの変化に対応した **サービスの積極的な提供** による成長を目指す。



- ① 新製品発売
- ② サービス領域拡大
- ③ 成長分野進出
- ④ CSRの取り組み

性能監視から**情報監視**へ、監視は新たなステージへ



<追加された新機能>

トポロジー表示	マルチテナント対応
ポータル表示	AWS 対応
性能データ演算	IPMI 監視
Webシナリオ監視	

<特徴>

監視項目の自動化	分析の自動化	大規模死活監視	VM監視
1分間 / 3年保存	レポーティング	スケールアウト	マルチベンダー

成長戦略に対する取り組み ②サービス領域拡大

性能監視 / 情報管理

●稼働状況・障害予測の把握

情報管理 / 性能監視ソフトウェア
System Answer シリーズ

抜群の操作性で、誰でも直感的にネットワークやサーバー機器の現状把握が可能です。長期および短期の傾向を的確に把握することで、障害の萌芽を見逃しません。

●内部統制

統合ログ管理オプション
LOG OPTION

各機器が出力するシスログ、イベントログ、アプリケーションログを収集し、ネットワークシステムの性能情報とあわせて、運用に必要な情報を一元管理することができます。内部統制強化、情報セキュリティ対策、システム障害対応などにも活用いただけます。

●性能監視の指標データ

性能指標公開サービス
Global Baseline

マルチベンダー環境で計測される性能情報を「Global Baseline サーバー」にて収集・統計をおこない、各製品の性能監視の指標となる統計情報を公開するサービスです。

●レポートサービス



ネットワークシステムの監視に長年携わってきた経験豊富なエンジニアが、客観的な立場でお客様の ICT システムを分析し、結果をご報告します。

●運用支援サービス



製品の使用法や活用方法のレクチャー、監視項目の発着しといった製品の有効活用の支援をおこないます。

●24時間 365日サポート

24 365

System Answer シリーズのサポートを夜間および休日まで拡大し、24時間 365日でのサポートサービスを提供します。

クラウド

●次世代 MSP サービス

SAMS

ネットワークシステムの情報管理 / 性能監視に長年携わってきた性能分析のノウハウを活かし、将来的に障害を発生させないインフラ環境を目指すことを目的としたサービスです。

●クラウド型性能監視サービス

on SAMS

情報管理 / 性能監視ソフトウェア「System Answer シリーズ」をクラウドサービスとして提供します。規模やサービスの拡大に柔軟に対応したいお客様、資産を持たずに監視運用したいお客様に最適なクラウド型監視サービスです。

●クラウド型統合ログ管理サービス

LOG on SAMS

シスログ / トラップ や Windows / NetApp / VMware、クラウド環境などの各種ログを収集し、横断的な分析やリアルタイム検知・通知が可能な統合ログ管理システムを、クラウドサービスとして提供いたします。

●SAMS オプションサービス

SAMS レポート

IBC 推奨のしきい値をもとに Warning や Information の事象を自動出力し、毎日 1ヶ月以内に障害が発生する可能性がある箇所をピックアップします。中長期にわたって対応が必要な箇所を把握することができます。

●最適クラウド提案サービス

クラウドインテグレーション

AWS、Microsoft Azure などの主要なクラウドサービスを始め、お客様のシステムに適合したクラウド基盤を提案から導入、構築までご提供します。また、「SAMS」による運用サービスを含め、構築から運用までトータルでのご提案が可能です。

●ユーザー体感レスポンス

品質管理サービス
レスポンス

国内外の複数拠点からサービス品質の指標となるレスポンスを測定し、「お客様体感レスポンス」を簡単に低コストで把握することができます。

ネットワーク
サーバー
VMware

ハイブリッド監視

SAMS
プラットフォーム

SAMS プラットフォームに接続・サービスを利用いただくことで、情報システム部門業務全般の代行や支援をおこないます。お客様の業務を劇的に改善するサービスの提供を目指します。

クラウド型インフラ管理

●運用自動化

運用自動化プラットフォーム
Kompira

運用維持業務の自動化により、人的コストの削減とサービス品質の向上を実現します。各種システムと連携可能なため、今あるシステムを最大限有効活用できます。

フロー分析

詳細トラフィック

●脆弱性管理

あらゆる資産を可視化
tenable.io

エージェント型、アクティブスキャン、パッシブスキャンなど豊富な検出方法で、継続的な管理を実現します。Tenable 社が Approved Scanning Vendor のため、ユーザー自身で PCI ASV 認証が可能です。

●セキュリティ情報イベント管理

統合ログ管理システム
Logstorage X / SIEM

ログの相関分析により、グレーなログをリアルタイムに検知します。事前作成したルールにもとづき、フィルタリング・検知を実施します。フィルタ後のログは、長期保存が可能です。

コンフィグ管理

通信別品質

●性能アセスメントサービス

IPAS

Office 365 などのクラウドサービスにおける遅延やアクセス不可などの原因を特定し、適切な解決策を導き出します。アセスメントサービスをご利用いただくことで、「どこで」「なぜ」を明らかにし、最適なキヤパシティ管理を実現します。

●セキュリティアセスメントサービス

ISAS

診断から保護まで、企業のセキュリティ課題に合わせたソリューションをコンスタントで提供しています。ツールによる自動診断と手動診断を組み合わせてご提供することで、コストとセキュリティを両立する効率的なセキュリティ診断が可能です。

●SSL サーバー証明書

Symantec Cybertrust

SSL サーバー証明書の取得にご利用いただけるクーポンを安価でサービスにて提供いたします。テジサーチ・ジャパネット株式会社と Excellent Partner であるため、クーポンを安価に購入することができます。

●セキュリティ保護ツール

Web 改ざんチェック Cloud

自動診断サービスと Web 改ざん検知サービスを提供しています。自動診断サービスは Web アプリケーションおよびネットワークを対象としたクラウド型の脆弱性診断サービス、Web 改ざん検知サービスは SaaS 型のセキュリティサービスです。

●ネットワークの詳細調査

フロー分析、振る舞い検知
Flowmon

フロー分析によって、より高度なセキュリティ対策、詳細なネットワーク調査をおこなうことができます。ADS オプション機能により、振る舞い検知も可能です。レポート機能も充実しています。

●プロトコル別トラフィック監視

ネットワーク品質の可視化オプション
Quality Analyzer Option

ネットワークシステムの性能情報と経路上を流れるパケットデータを組み合わせることで、インフラ層の性能情報から運用別の品質状況（パケットロス率、コネクशन数、RTT、アプリケーション遅延）までを一元的に可視化することができます。

●コンフィグ管理

総合的なコンフィグ管理
Net LineDancer

コンフィグ管理とオペレーションターミナルサーバーとして活用できます。完全日本語対応、ウィザードによる GUI を提供し、画面操作も簡単です。

●クラウド型エンドポイント管理

エンドポイントセキュリティ管理
ISM CloudOne

横断的攻撃対策や内部不正防止に有効なクラウド型 IT 資産+セキュリティ管理ツールです。ローションフリーで、どこにいても管理対象すべてのポリシーの適用と脅威対策の実施が可能です。

●クラウド型 WAF

Web セキュリティサービス
攻撃遮断くん

対策サイト数は国内 No.1 で、運用でお客様の手を煩わせることなく、web サービスのセキュリティ対策が可能です。国内唯一の定額制サービスも提供しています。

●AI x ビックデータ自動運用サービス

AWS WAF 自動運用サービス
Waf Charm

AI x ビックデータによる WAF の自動運用サービスです。シグネチャ最適化技術を用いた「WafCharm」AI が、WEB サイトごとにおすすめのシグネチャを判別して提供・自動運用します。

品質管理

セキュリティ対策

- ✓ クラウドコンピューティング関連の専門展 クラウドコンピューティングEXPO に
出展し「クラウド運用の課題解決」をコンセプトに当社提供各種ソリューション
を紹介。
- ✓ 2019年6月12日～14日に開催されたICTに関する最新技術とソリューションの
展示会 Interop Tokyo 2019 に出展。

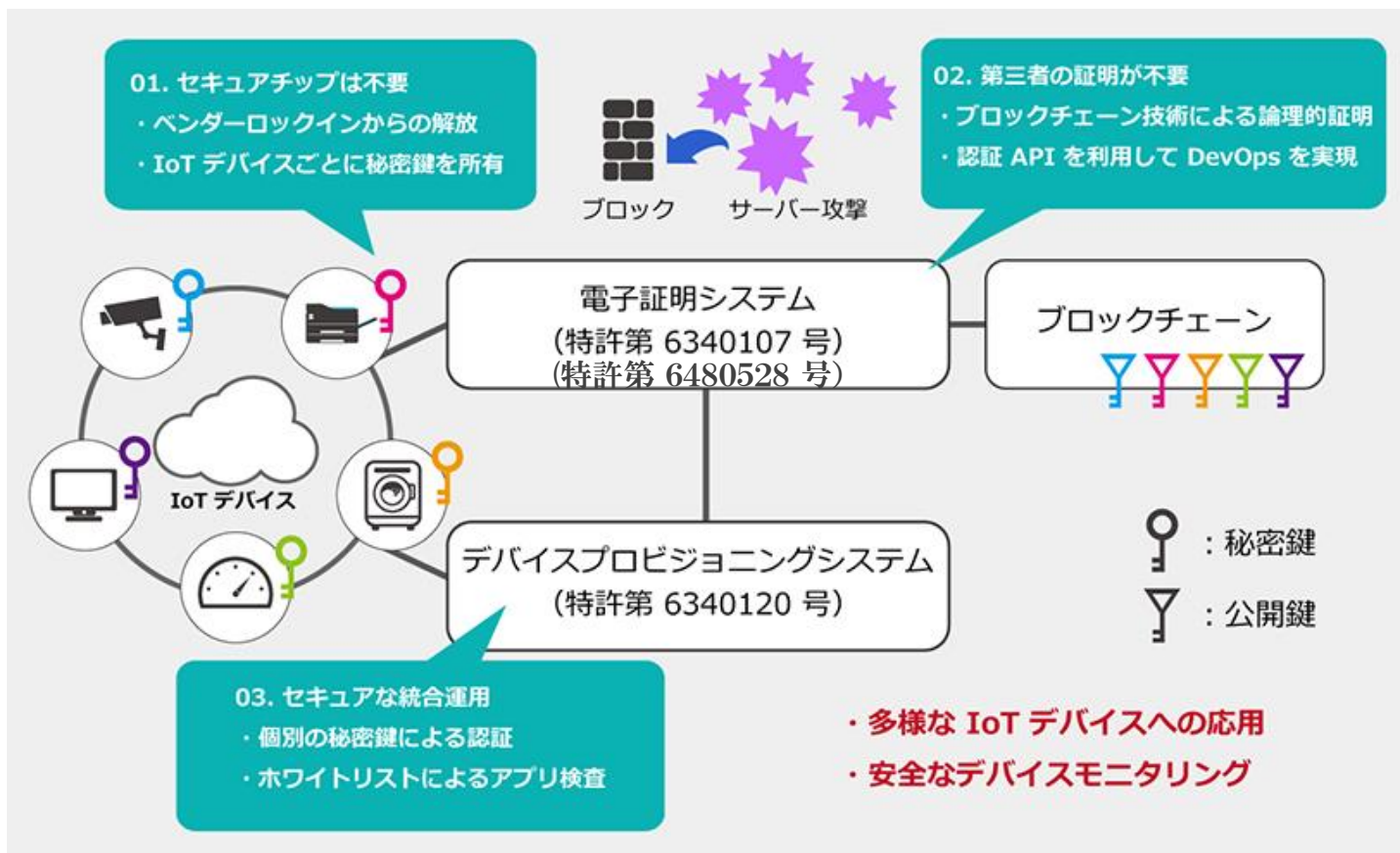


kusabi™ IoTセキュリティ基盤サービス kusabi™

- ✓ 総務省は、電気通信事業法に基づいて端末機器の技術基準を定める省令を改正し、IoTセキュリティ対策として、端末機器に不正アクセスを防ぐ機能を設けることを義務付け、2020年4月から適用予定。
- ✓ kusabi™は、特許取得済みである「kusabi™電子証明書システム(特許第6340107号/特許第6480528号)」及び「デバイスプロビジョニングシステム(特許第6340120号)」に基づき、1. パスワード不要、2. パブリック認証局不要、3. 専用チップ不要 で、上記「省令改正」への早期対応が実現可能。

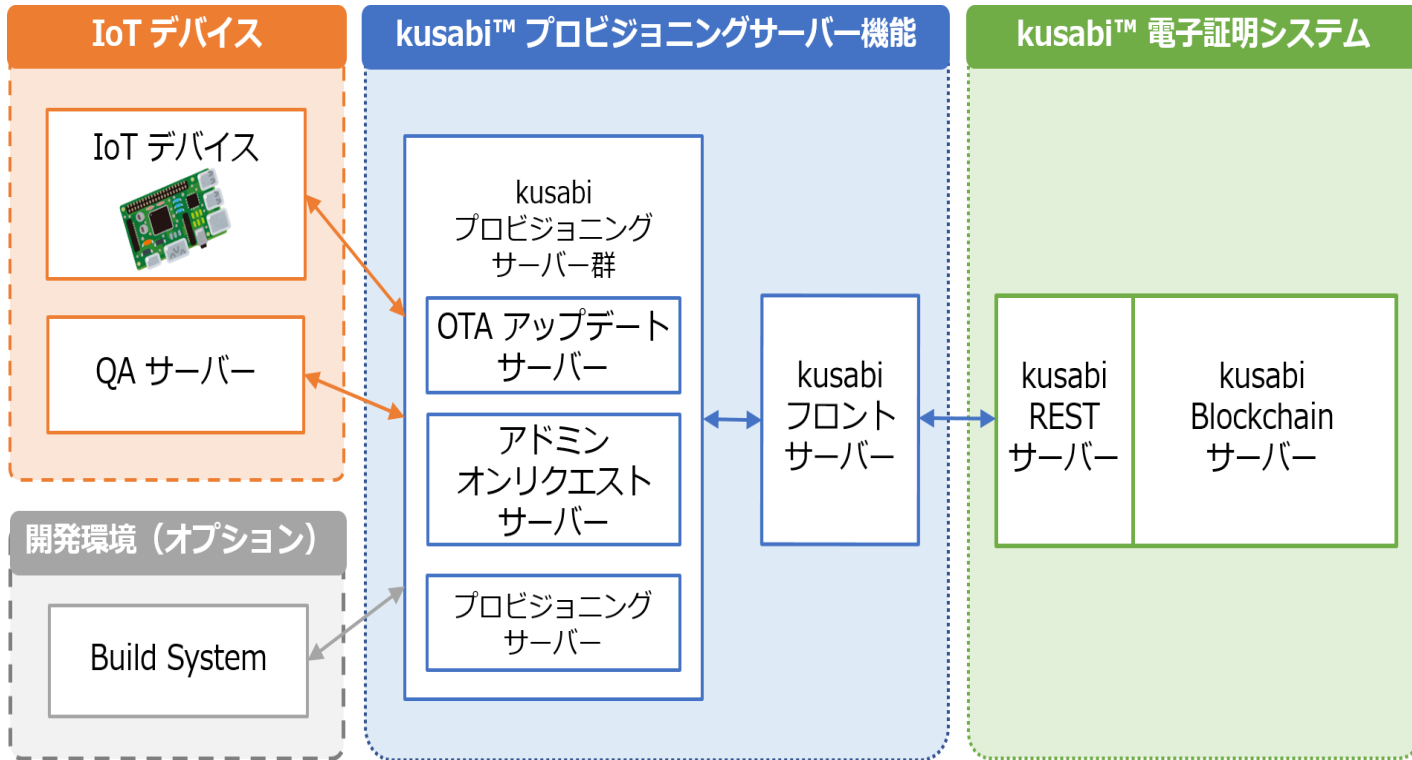
IoTセキュリティ基盤サービス kusabi™

kusabi™ モデルは、ブロックチェーン技術による電子証明システムと、独自のデバイスプロビジョニング技術により、ソフトウェアだけで IoT セキュリティを実現。



kusabi™ の実証実験を支援する 「kusabi™ PoC支援サービス」を開始

環境構築や設定の手間を掛けずに、実証実験を開始可能



<ホワイトペーパー請求先>

kusabi™ホワイトペーパーの入手をご希望の方は、タイトルに「ホワイトペーパー希望」とし、本文に「所属先」、「所属部署／役職」、「氏名」、「電話番号」、「メールアドレス」を記載の上、以下のメールアドレス宛にお申し込みください。

E-mail:kusabi901@kusabi-auth.jp



iChain

iChain株式会社

- ✓ 2016年4月に株式会社Skeedと合併でiBeed株式会社設立
- ✓ 2016年7月にiBeed株式会社を子会社化
- ✓ 2018年5月にiChain株式会社へ商号変更
- ✓ 他社に先駆け、InsurTech(保険×テクノロジー)にフォーカスした事業を推進
- ✓ 当期より連結対象子会社に

コンシューマーおよび保険事業者に対して

人と人を技術でつなげる

というコーポレート・メッセージとブロックチェーンのイメージを「Chain」というキーワードに込めています。

デザインを刷新し、操作性を向上



iChain 保険ウォレット

- ✓ ほとんどの国内保険会社/共済組合の保険/共済商品に対応
- ✓ 自身の加入している商品名、契約者、保障・補償対象、保険料、保険期間などの基本情報および保険証券イメージをスマートフォンで登録・閲覧可能
- ✓ 加入商品の情報を家族のスマートフォンへ共有でき、「もしも」のときに迷わずに自身や家族が保険会社へ連絡し保険金や給付金の請求が可能
- ✓ 保険ポートフォリ管理スマホアプリ「iChain 保険ウォレット」を AppStore、Google Playから無料で配信



契約者毎の保険証券管理が可能に

ダッシュボード機能を追加：
6種類のリスクに対する保障・補償状況を表示

iChain 三井住友海上とのサービス連携を開始

「iChain 保険ウォレット」から三井住友海上の「お客さまWebサービス」への連携を提供



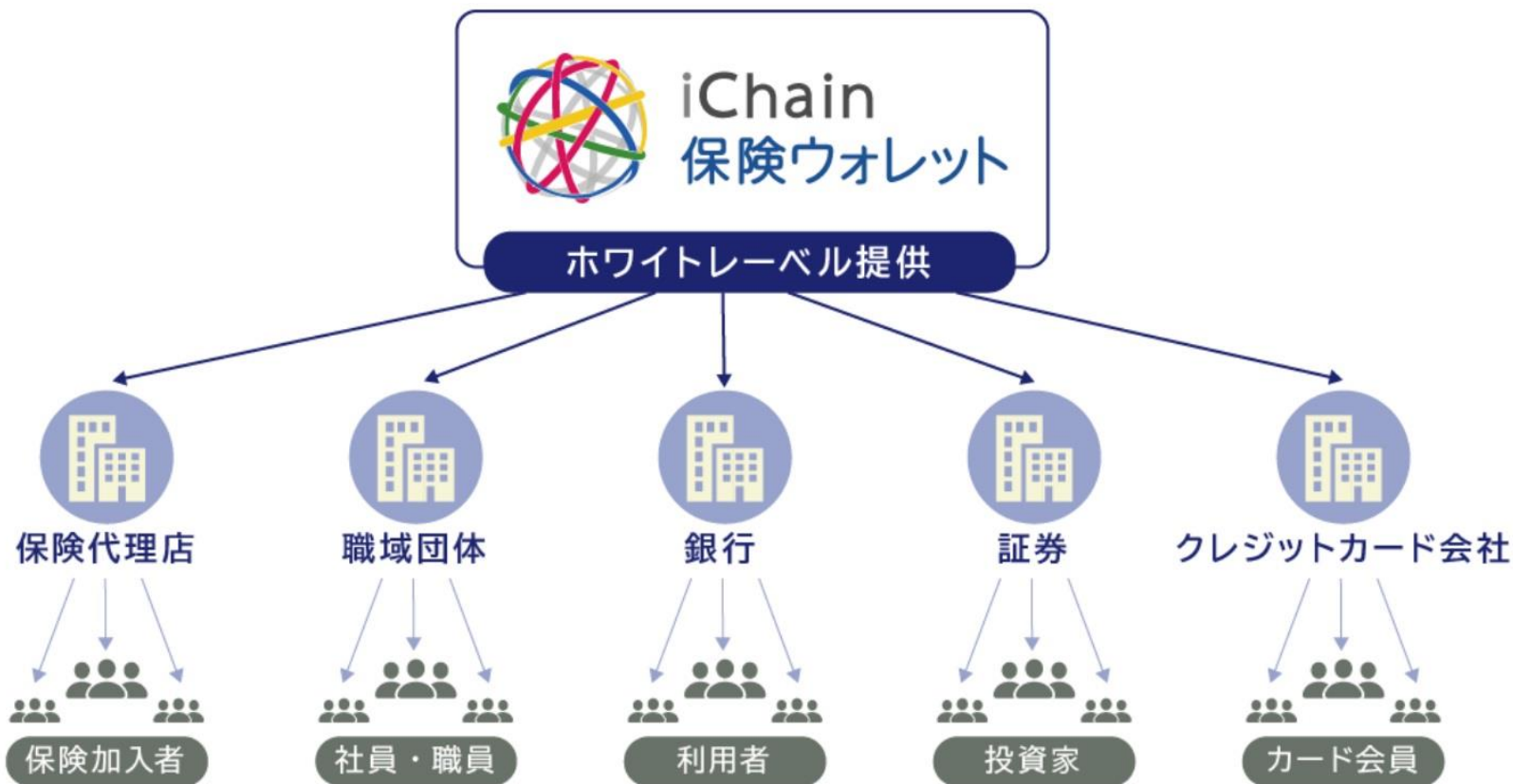
✓ 「お客さまWebサービス」へアクセスボタンの配置

✓ 「iChain 保険ウォレット」での保険登録時のプッシュ通知によるアカウント登録の促進
 ✓ 「iChain 保険ウォレット」での住所登録・変更時の住所変更手続きの促進

✓ 満期前(60日前)の保険内容の確認の促進

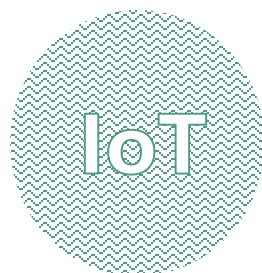
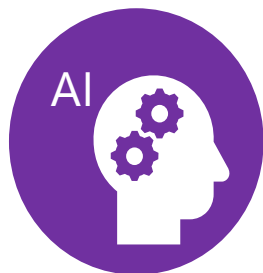
iChain 「iChain保険ウォレット」を他社ブランドで提供開始

東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)が設立した(株)マネーコンパス・ジャパンに対して「そなえるコンパス」ブランドとして「iChain保険ウォレット・ホワイトレーベル」の導入決定。(2020年1月リリース予定)



ベンチャーキャピタル事業、ベンチャー企業等に対する投資、M&A、資本業務提携

進化を続けるSystem Answerシリーズを中心にIBCソリューション拡充のため、効果的な事業投資により、付加価値の獲得や規模の拡大、事業領域の拡大を追求していく。





株式会社サンデーアーツ

- ✓ 2009年9月にサンデー合同会社 設立
- ✓ 2013年8月に株式会社サンデーアーツへ社名変更
- ✓ 2015年9月にクラウドファンディングシステム「DECTO」販売開始
- ✓ 2017年10月にブロックチェーン(Dapps)開発部門「Blockchain Lab」発足
- ✓ **2019年4月に簡易株式交換により完全子会社に**

「技術で世界の人々の暮らしを豊かにする」を理念に、

これまで移り変わりの急激なITビジネス業界で市場に適応して、

その時勢で注目を浴びるシステムのパッケージング化の実現に注力。

今後も市場に求められるシステム開発に注力し、人々の暮らしを豊かにできるように邁進してまいります。

最先端技術をいち早く取り入れ、開発できる体制



【Blockchain Lab】 ブロックチェーン開発事業

次世代プラットフォームになる可能性を持つ注目技術を利用したシステムの開発を実証実験に留まらず大規模プロジェクトの開発まで携わっています。



ソフトウェア開発事業

ビジネスシーンに応じたシステム開発実績と、高い技術に裏打ちされた高品質なシステムを構築いたします。一括受託に限らずニアショア開発の実績もあり。



システムエンジニアリング サービス (SES) 事業

サンデーアーツのシステムエンジニアの高い技術サービスをご提供いたします。



パッケージソフトウェア 開発、販売事業

ICOシステム (firestarter)、クラウドファンディングシステム (DECTO)、キュレーションシステム (CuraPort) 等のパッケージソフトウェア開発、販売。

▲ OCTAVE

Octave Tech Investment L5 LLC へ出資

- ✓ Octave Tech Investment L5 LLCを通じて自動運転車向けLiDAR (*1)を開発製造する米スタートアップ企業に出資。(2019年3月)
- ✓ Octave Tech Investment L5 LLCは、Octave Ventures LLC により運営・管理されるファンド。
- ✓ Octave はPayPal(ペイパル)創業者として知られるピーター・ティール氏が出資している、AI、Big Data、IoT、5G、Transportation といった分野に数多くの投資実績をもつ投資会社。

(*1)LiDARは「Light Detection and Ranging」の略で「ライダー」と読む。LiDARは、光を使ったリモートセンシング技術を用いて物体検知や対象物までの距離を計測するもので、レーザー光を照射し、それが物体に当たって跳ね返ってくるまでの時間を計測し、物体までの距離や方向を測定する。技法はレーダーに類似しており、レーダーの電波を光に置き換えたものと言われている。

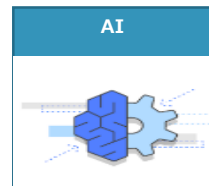


株式会社NSD先端技術研究所へ出資

- ✓ 株式会社NSD先端技術研究所による研究成果をもとに高付加価値サービスの創出を目指すべく、2019年4月25日出資。



System Answer® G3



次世代 MSP サービス
SAMS

- ✓ 議決権所有割合(30%)の持分法適用関連会社へ、非常勤役員1名派遣。

(出資先概要)

1. 商号 株式会社NSD先端技術研究所
2. 所在地 東京都千代田区神田淡路町2-101 ワテラストワー
3. 設立 2019年4月1日
4. 代表者 黄川田 英隆
5. 資本金 資本金100百万円
6. 親会社 株式会社NSD本社(代表取締役社長 今城 義和、東証1部)
7. 事業内容 AIやIoTなどの先端技術を活用した研究開発及び実証実験支援
新技術領域における新サービス・新製品の創出

ナビプラス(株)から事業譲受け セキュリティポートフォリオを強化

脆弱性診断サービスおよびSSL証明書クーポン販売を開始
(2019年8月1日より)



IBC × SDGs

1 Environmental Initiatives 環境への取り組み

調達品をグリーン購入に切り替え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入しています。また、廃棄していた広告FAXや雑紙の裏面を利用し、メモ帳としてリサイクルする「メモ帳運動」を実施しています。



2 Social Contributions 社会貢献

ペットボトルキャップを回収、その売上を「NPO法人 世界の子どもにワクチンを」へ、郵便物の切手（使用済）を集め、「公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ寄付しています。



3 Work Style Reform 働き方改革

産後も女性が安心して働ける環境作り、男性も積極的に育児に参加できる環境作りを目指し、育児休暇の活用促進を行い、ワークライフバランス、育休復帰後の働き方の選択のため、在宅勤務制度を新たに導入いたしました。





Educational Promotion

4

教育推進

自己研鑽のための通信/通学で受講できる研修システムを導入。これからの多様な働き方に適応していく人材の育成に取り組んでいます。また、次世代技術者の育成支援のため、プログラミングコンテスト等の学生向け技術者コンテストにスポンサーや審査員として協賛しています。2020年2月29日、3月1日に開催される「ICTトラブルシューティングコンテスト2019」のゴールドスポンサーとして協賛。

 4 質の高い教育を
みんなに

 8 働きがいも
経済成長も



5

Innovation

技術革新

kusabi™は、全てが繋がる時代の「個の認証」に対して、トレイサビリティを実現するべく、応用できる技術開発に取り組んでいます。

 9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

 11 住み続けられる
まちづくりを


情報セキュリティ:

アイビーシーは、セキュリティの重要性を認識し、適切な取り扱いおよび管理を行うことは重大な社会的責務であると考えます。この責務を十分に果たし、お客様に信頼される企業であり続けるために、日本工業規格「JIS Q 15001:2017」に従い個人情報保護マネジメントシステムを整備。2019年10月に、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークの付与認定を受けました。



事業継続:

アイビーシーは、起こりうる大規模災害を想定したリスク対応として、災害備蓄品の配備、VDIシステムにより、セキュリティを確保した状態でのリモートワークを行える環境の導入等のBCPの整備を行っております。

ご清聴ありがとうございました。

【免責事項】

本資料は、アイビーシー株式会社(以下「当社」といいます。)の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。